

令和2年度当初予算(案)  
主要な施策(概要版)  
～改革から創造～



令和2年2月  
守口市

# [令和2年度の主な施策]

## 1 国際交流、経済振興、都市魅力の向上

### ■オリンピック・パラリンピックホストタウン事業

(15,480千円)

◇東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会におけるホストタウンとして、ガンビア共和国の選手団を受け入れるとともに、選手団と市民との交流等を実施し、本市の国際交流の充実及び市民の国際理解の促進を図る。

### ■工業活性化支援事業

(3,000千円)

◇守口市工業振興条例に基づき市内事業者の工業振興を図るため、設備投資、展示商談会への出展等を実施する市内の工業事業者に対して補助金を交付し、事業活動を支援する。

### ■守口市歌普及促進事業

(1,251千円)

◇本市市制施行日(11月1日)から市内の同報系防災行政無線から定時通信確認として毎日午後5時30分に放送している「夕焼けこやけ」のメロディを昭和39年の東京オリンピック行進曲である「オリンピック・マーチ」などを作曲された、昭和の名作曲家である故古関裕而氏作曲の「守口市歌」に変更するとともに、市の行事等でも使用することにより、守口市歌及び守口市への市民の愛着を育む。



# [令和2年度の主な施策]

## 2 子育て支援の充実

### ■認定こども園等給食費補助事業 (127,926千円)

◇国制度で無償化対象外である認定こども園、保育所等を利用する1・2号認定子ども及び新制度未移行幼稚園を利用する子どもの給食費負担について、給食費のうち副食費相当額を市独自に1人あたり月額4,500円を上限に補助する。また、児童発達支援を利用する子どもについても、給食費の一部を補助する。

### ■民間保育士緊急確保支援事業 (483千円)

◇民間認定こども園等における保育士の緊急確保を支援するため、令和3年度の新規就職者に対して40万円の就労促進給付金を民間園との協働事業として支給する。令和2年度は、給付の実施に先立ち、制度PRを行い、確保を支援する。

### ■養育訪問支援事業(育児家事援助型) (1,340千円)

◇1. 子育て支援の1つとして、養育者の養育力不足や産後うつ状態、精神疾患等により、児童の食事や衣服の清潔、生活環境に課題がある家庭にアウトリーチ手法による支援を実施する。  
2. 合わせて、養育者の心身状態の悪化に伴うレスパイト(一時休息)的な役割として、育児家事援助型の支援を実施する。

### ■地域子育て支援拠点事業(新規設置) (8,152千円)

◇市の南部エリアに新たな地域子育て支援拠点を民営により設置するため、事業を実施する民間園に対して補助金を交付する。

### □病児保育事業(病児対応型) (13,091千円)

◇保護者ニーズの強い病児保育を充実するため、市内2カ所目となる病児保育事業(病児対応型)を令和2年4月から開始する事業者に対し、その運営費用について補助を行う。

## [令和2年度の主な施策]

### 3 安全・安心なまちづくり

#### ■旧よつば小学校跡地公園整備事業 (67,198千円)

◇旧よつば小学校跡地を防災機能(一時避難場所等)をはじめ多目的な機能を備えた東部地域最大の公園として整備するため、校舎解体工事実施設計、公園整備工事実施設計、測量及び体育館の改良工事実施設計を実施する。

#### □土居公園再整備事業 (50,704千円)

◇旧守口保健所敷地を含む土居公園を再整備し、憩いとスポーツ、防災の機能(一時避難場所等)を備えた親しみのある公園とするため、令和2年度から旧守口保健所の解体工事、公園の整備工事等を実施する。

#### ■大日都市核(駅前広場)みどりアメニティ増進事業 (16,000千円)

◇大阪府の森林環境税を活用した都市緑化戦略プロジェクトとして、ヒートアイランド対策等、市民の健康の保持増進やアメニティ向上につなげるため、大日駅前交通広場にみどりの植樹と微細ミスト噴霧設備を整備する。

#### ■避難所環境充実化促進事業 (1,763千円)

◇台風時の自主避難や大地震の際の避難所環境の改善等を図るため、計画的な備蓄品の配備として令和2年度は段ボールベッド及びスポンジマットを購入する。

#### ■MCA同報系防災行政無線子局増設事業 (15,065千円)

◇災害時における情報伝達の更なる充実に向け、音声が届きやすい地域を解消するため、MCA同報系防災行政無線の子局を2カ所に増設する。

#### ■地域防災力推進事業 (800千円)

◇地域防災計画策定への機運を高めるなど、地域による自主的な防災・防犯への取組みを促進するため、各コミュニティ協議会が市、警察と共催で実施する防災・防犯関連事業に対して、1協議会あたり50千円を上限に補助金を交付する。



■は新規事業(拡充含む)、□は継続事業

# [令和2年度の主な施策]

## 4 都市環境の整備

### ■にぎわい交流施設最適配置調査事業 (7,040千円)

◇本市都市核の1つである京阪電鉄守口市駅前周辺へのホール機能の誘導可能性や公共施設の将来を見据えた最適配置方針策定に先立ち、公民連携手法の導入も想定した効率的な事業化手法を検討する。

### ■大阪モノレール大日駅可動式ホーム柵設置費補助事業 (21,868千円)

◇市民・利用者の安全確保のため、大阪モノレール大日駅における可動式ホーム柵の設置について、事業者に対して整備費の一部を補助する。

### ■空き家除却補助事業 (3,000千円)

◇特定空家等に該当する空き家の除却に要する経費について、1件あたり1,000千円を上限に補助金を交付する。

### ■地域公共交通のあり方研究事業 (180千円)

◇高齢化に伴う乗降客の減少等、市域の社会経済情勢の変化を踏まえた今後の地域公共交通のあり方について研究するため、有識者を招いた懇談会を開催する。

### □都市計画道路豊秀松月線整備事業 (196,524千円)

◇豊秀松月線が無電柱化や植栽等による景観に配慮したシンボルロードとして整備する。

1. 用地交渉
2. 土地購入・物件補償
3. 無電柱化工事



# [令和2年度の主な施策]

## 5 学校教育の充実

### □さくら小学校開校準備事業 (97,400千円)

◇令和3年4月に新校舎の供用開始に向け、所要の準備を行う。

1. 備品等の購入
2. 備品等の運搬
3. 新校舎建設に伴う電波障害対策

### ■GIGAスクール事業 (809,865千円)

◇子どもたちの未来を見据え、高速大容量の通信ネットワークを整備の上、1人1台の学習端末(タブレット)を活用した学習活動を充実するため、義務教育段階の児童生徒(小学校5、6年生・中学校1年生・義務教育5～7年生)に対して端末を整備・貸与する。

【令和2年2月補正予算により予算措置】

### ■学校運営協議会設置事業 (3,303千円)

◇地域住民等の意見を学校運営に反映し、学校・家庭・地域の協働による教育活動を推進するため、全中学校区及び義務教育学校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置する。

### ■部活動指導員配置事業 (7,129千円)

◇部活動の質的向上等を図るとともに、教員の授業準備や生徒指導等の時間を確保することで、学校教育の一層の充実を図るため、全ての市立中学校及び義務教育学校に部活動指導員を配置する。



■は新規事業(拡充含む)、□は継続事業

# [令和2年度の主な施策]

## 6 コミュニティ活動の推進

### □西部コミュニティセンター

#### (仮称)レクリエーションホール整備事業 (282,275千円)

◇避難所としても活用可能な(仮称)レクリエーションホールを西部コミュニティセンターに整備し、隣接して整備する都市公園と合わせて、市民の憩い、スポーツ・レクリエーションの場とする。

## 7 地域福祉の充実

### ■地域福祉推進活動助成事業 (1,576千円)

◇地域福祉推進基金(積立額:約4.8億円)の活用を開始し、市民の地域福祉に係る活動の振興、育成等、地域福祉の推進に資する市民活動に対して助成する。

### ■地域生活支援拠点等施設整備事業 (92千円)

◇民間事業者のノウハウ等を活用し、守口市立わかたけ園を民設民営により運営することで、持続可能でより質の高い障がい福祉サービスを提供するため、今後のわかたけ園の再整備及び運営を行う民間事業者をプロポーザル方式により選定する。



■は新規事業(拡充含む)、□は継続事業

## [令和2年度の主な施策]

### 8 健康づくりの推進

#### ■健康寿命延伸啓発事業 (3,000千円)

◇健康寿命の延伸に向けた普及啓発を目的として、市が実施する健康増進施策や地域における健康活動等の情報を掲載した啓発冊子を作成し、全戸配布する。

### 9 効果的・効率的な行財政運営の推進

#### □守口市総合基本計画策定事業 (10,855千円)

◇まちの将来の方向性を明確に示し、まちづくりの総合的な指針となる「(仮称)第6次守口市総合基本計画」を策定する。

#### □庁舎省エネルギー改修事業 (4,786千円)

◇市役所庁舎の設備更新等を迎えるにあたり、今後の省エネルギー化を一層推進するため、令和2年度にプロポーザル方式により省エネルギー改修事業者を選定する。



■は新規事業(拡充含む)、□は継続事業